

## 大阪公立大学 工学部研究室訪問

実施日程 令和4年12月7日（水）

実施場所 大阪公立大学（中百舌鳥キャンパス）

講師 有馬 正和（海洋システム工学科教授） 吉村 武（電子物理工学科准教授）

参加生徒 1年生2名、2年生10名

### ■仮説

大阪公立大学工学部の研究室を見学させて頂き、その研究施設や内容に直接触れることで、科学的な探求心を養い、また進路決定の意識を高めることができる。

### ■実践

後期中間考査終了日の午後を利用して実施した。海洋システム工学科と電子物理工学科の2研究室に分かれて見学し、研究内容、研究施設、また現在在籍する学生達の研究活動内容にも触れる。教授や学生方と意見交換（質問）を積極的に交わす生徒が多数いた。

### ■評価

高校生にとって大学の研究室はどのような研究をしているのかは、「漠然としていてよく分からない」といったものであったが、今回の実践を通して実際の研究施設やその内容を丁寧にご教示頂き、具体的なイメージを掴むことができた。

また、生徒側からの質問も積極的に行い、主体的・能動的な態度で参加することができた。

### ■資料

<参加者の感想>

- ・大学の研究室がどのような雰囲気でのどのようなことをしているのか、イメージがつきにくかったけど、今回の訪問で詳しく知ることができ、貴重な体験になった。
- ・研究室や学生さんの研究内容が興味深いものが多くて行って良かったと思っし、こういう大学に行けるように勉強しようとモチベーションもあがった。
- ・高校での学習内容が、研究内容に直接関わっていると知り、一層勉強に励まないといけないと感じた。
- ・今回の見学会で「電子工学系は自分がやりたいことと違う」ことが分かった。実際に実験の機器や様子などを見て、それを知ることができたので、このような機会は来年も行ってほしい。
- ・事前にHP等で見ていたが、実際に研究室を訪問すると、想像以上の精密機械やそれを使った実験をしていて驚いた。
- ・大学の研究は自分が思っていたよりずっと専門的であったので驚いた。研究では、英数理が大事だと分かったので、重点的に勉強しようと思う。
- ・学科選択の参考になった。
- ・海洋システム工学科に興味をわいた
- ・数学と物理が特に必要だと知り、力を入れて勉強しようと思った。

